

令和7年度 第2回大和市文化芸術振興審議会 会議要旨

1. 日 時 令和7年8月26日(火)10:00
2. 出席状況 委 員 6名(川染会長、明吉委員、小須田委員、小林委員、篠原委員、橋本委員)
事務局 5名(文化振興課長、文化振興係4名)
3. 傍聴人 傍聴人 なし
4. 議 題
 - 1 開会
 - 2 報告事項
 - (1)次期指定管理者の選定結果について
 - (2)文化芸術活動支援補助金およびやまと芸術文化ホール開放事業(舞台の部)の選考結果について
 - 3 審議事項
 - (1)文化芸術の振興のための顕彰事案について
 - 4 その他
 - 5 閉会
5. 会議資料
 - 資料1 文化創造拠点等の次期指定管理者選定結果について
 - 資料2 文化芸術活動支援補助金および
やまと芸術文化ホール開放事業(舞台の部)(令和8年度事業分)選考結果について
 - 資料3 令和7年度 大和市文化芸術顕彰候補者(案)について

【会議要旨】

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1)次期指定管理者の選定結果について
○市から、「次期指定管理者の選定結果について」を説明。

【意見交換】

- | | |
|-----|--|
| 委員 | 審査委員として出席した。やまとみらいは次期で3期目。実践によるノウハウに基づいた洗練されたプレゼンだった。 |
| 委員 | 同一の事業者が指定管理を続ける年数に上限の規定はあるか。新規事業者の参入なくして、時代の流れをくんだ活動を実施することは可能か。 |
| 事務局 | 何期までという規則はない。市が仕様書を作成する際、時代に沿った仕様を盛り込み、指定管理者は市の求める水準にこたえている。新規の事業者が応募することは歓迎したい。実績を持つ企業がプレゼンで強くなる傾向はあるかもしれないが、実績は実績として分けてとらえ、総合的に判断していく。長年同一企業の指定が続くと新規参入が難しくなることも理解できる。サービスが陳腐化することがないよう、今後も審議会等でチェックしていく必要がある。 |
| 委員 | 現状、指定管理者の運営がとても上手くいっていると感じている。 |
| 委員 | やまとみらいを構成する6企業の一部を入れ替えすることは可能か。 |
| 事務局 | 共同事業体として応募しているため、指定期間中の一部入替は基本的にはない。応募段階ではあり得るが、事業者内での調整であり、市は関与しない。 |

委員 限られた予算の中でも、指定管理者にはぜひ民間のノウハウを生かした質の高い運営を行ってほしい。

委員 今回、仕様書に変更があった。時代に即した仕様書を作成することが大切。

(2)文化芸術活動支援補助金およびやまと芸術文化ホール開放事業(舞台の部)の選考結果について
○市から、「文化芸術活動支援補助金およびやまと芸術文化ホール開放事業(舞台の部)の選考結果について」を説明。

【意見交換】

委員 選考委員として出席した。

大和みんなのステージ交流公演実行委員会:若い方が代表で、新しいエネルギーを感じた。ぜひ、行政側も支えて事業を進めていってほしい。

大和たんぼぼの会:0歳からの大人までの音楽会。普段文化に触れることが難しい人にも文化サービスを提供することは重要だと感じた。

やまと子どもミュージカル:資金面で苦勞している様子がうかがえた。大和市から補助金がでることでメンバーの市内在住割合が増えればうれしい。

委員 補助制度が改正されたと思う。改正内容を教えてほしい。

事務局 これまでは、20万円以上の事業費がかかる事業に対し、その経費の1/2を補助することとしていた(上限額25万円)。しかしながら、この方式で算定した場合、事業費が50万円までの事業であれば1/2の補助率となり平等な制度といえるが、実際には、50万円以上の事業費がかかるものが多く、実質的な補助率がかなり低くなるケースが多数発生した。そこで、実質的な補助率の不均衡をできる限り軽減するため、一律25万円の上限額ではなく、事業費の規模に応じた上限額を設定した。

委員 補助率を教えてほしい。

事務局 概ね10%~20%。

委員 より多様なジャンルの団体から応募があるとよい。

3 審議事項

(1)文化芸術の振興のための顕彰事案について

○市から、「文化芸術の振興のための顕彰事案について」を説明。

— 大和市情報公開条例第7条第3号に該当するため非公開 —

4 その他

○特になし

5 閉会